

平成29年度 法人本部事業報告書

総括

平成29年度は当法人を設立してから40年目にあたる節目の年でありました。この40周年を機に、初心に戻って、法人の基本理念を職員の共通の価値として、障がい福祉の推進に努めていくこととしました。そのためにも、この度の社会福祉法人制度改革の趣旨に沿って積極的に経営改革を行い、サービスの質の向上と障がい児者の地域生活の充実に取り組んでいくことにしました。

その経営改革の取り組みの一つとして、施設サービスの充実やサービスの開発につながることでできる人材の育成、職員の意識改革や組織改革を進めていくために、各施設の幹部職員をメンバーに新しく事業運営会議を毎月実施しました。また、事務に関する業務の効率化や利用者支援に関する個別支援計画の策定等の充実を図るため、より充実したITシステムを導入しました。

施設整備関係については、「障がい福祉サービス事業所やまもも」の外壁等の修繕工事を実施しました。「児童発達支援センターすみれ園」では、駐車場の整備と平成30年度の施設整備補助金申請を提出しました。30年度の建て替え予定です。

29年度は、第1期中期経営計画の最終年度となりましたので、これまでの取り組みを総括し、継続課題の整理と新たな課題を明確化し、第2期中期経営計画を策定しました。4年後のビジョンの実現に向けて、サービスの質の向上と障がい児者の地域生活の充実に取り組んでいきます。そのためには、まずは、法人職員全員で中期計画、事業計画等の確実なPDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）に取り組み、サービス向上等につなげていくように努めるものです。